

# 多賀城碑 国宝 指定記念講演会

西

多賀城

去京一千五百里

去蝦夷國界一百廿里

去常陸國界四百十二里

去下野國界二百七十四里

去靺鞨國界三千二里

此城神龜元年歲次甲子按察使藤原

軍從四位上勳四等大野頭兼東

也天平寶字六年歲次壬寅恭親王

藤原度使從四位上仁部省卿兼

將軍藤原實美朝臣朝務從四位

天平寶字六年二月一日

2024年

5月25日 土

会場 / 多賀城市民会館小ホール (多賀城市文化センター内)

時間 / 14:00 ~ 16:00 (開場: 13:30)

平成 10 年に重要文化財に指定された多賀城碑が国宝に昇格することになりました。  
これを記念し、講演会を開催いたします。

## 講師

ひらかわ みなみ  
平川 南氏

(国立歴史民俗博物館名誉教授)

- ・昭和 18 年 (1943) 山梨県甲府市生まれ
- ・昭和 40 年 (1965) 山梨大学学芸学部卒業
- ・昭和 45 年 (1970) 宮城県多賀城跡調査研究所技師
- ・昭和 57 年 (1982) 国立歴史民俗博物館助教授
- ・平成元年 (1989) 国立歴史民俗博物館教授
- ・平成 17 年 (2005) 国立歴史民俗博物館長 / 山梨県立博物館長
- ・平成 26 年 (2014) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構理事
- ・平成 30 年 (2018) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長
- ・令和 4 年 (2022) 国立歴史民俗博物館名誉教授



「多賀城碑が刻む『激動の東アジア世界』」

多賀城碑文の中で誰もが目を留めるのが「靺鞨国界」であろう。ここに記された靺鞨は中国東北部に居住する黒水靺鞨を指すと考えられ、唐・新羅・渤海、ひいては日本のいずれの国にとっても北狄=異民族として位置づけられたものであった。さらに碑文には我が国にとっての「東夷」である「蝦夷国界」の記載もみえ、これらは中華思想が根底にある。碑を建立した藤原朝獨は、当時の東アジアにおける国家間の情勢に精通し、異民族の存在を刻むことによって、自らの事績を誇示しようとしたのではないだろうか。

ひろたに かずや  
廣谷 和也氏

(宮城県多賀城跡調査研究所副主任研究員)

- ・昭和 59 年 (1984) 山形県東村山郡山辺町生まれ
- ・平成 18 年 (2006) 福島大学行政政策学類卒業
- ・平成 20 年 (2008) 福島大学大学院地域政策科学研究科修士
- ・平成 20 年 (2008) 宮城県多賀城跡調査研究所技師
- ・平成 30 年 (2018) 宮城県教育庁文化財課技術主査
- ・令和 6 年 (2024) 宮城県多賀城跡調査研究所副主任研究員



「考古学的成果と多賀城碑」

多賀城碑については、その真偽をめぐる様々な論議がなされてきた。それをより深く、考古学的な立場から多賀城碑の信憑性が高いことをせしめられた意味で、昭和 38 年に始まる多賀城跡の発掘調査成果が果たした役割は大きい。碑に記された創建や改修の年代が、発掘調査でとらえられた多賀城の変遷と矛盾しないことが明らかとなった点に大きな意義がある。

### 講演会申込みについて

参加費 / 無料

定員 / 400 人 (先着順)

申込開始日 / 2024 年 4 月 16 日 (火)

申込方法 / 電話 (022-368-0134) もしくは

申込フォームから申込み

(電話は埋蔵文化財調査センターの  
休館日除く)



申込はこちら



### 資料展「我が家の多賀城碑」開催のお知らせ

会期 / 【前期】2024 年 4 月 27 日 (土)

～ 5 月 17 日 (金)

【後期】2024 年 5 月 18 日 (土)

～ 6 月 9 日 (日)

会場 / 多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室  
観覧料 / 無料

市民が所有している多賀城碑関連の資料を展示します。  
前期と後期で資料の入れ替えがあります。

## 多賀城市埋蔵文化財調査センター

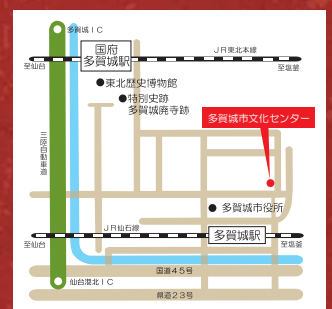
(多賀城市文化センター内)

開館時間 9:00 ~ 16:30

休館日 月曜日 (祝日を除く)、祝日の翌日 (土日を除く)

〒985-0873 宮城県多賀城市中央二丁目 27-1

TEL 022-368-0134



多賀城市の文化財 🔍 検索

<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>